

介護ロボット導入効果報告書  
( 1年目 2年目 3年目 最終 )

令和4年4月26日

沖縄県知事 様

令和 年度に導入した介護ロボットについて、導入効果を報告します。

住 所 沖縄県那覇市山下町5番10号  
事業主体名 社会福祉法人 沖縄にじの会  
代表者職氏名 理事長 仲西 常雄

事業主体名（法人名等）	介護サービス事業所名	介護サービスの種別	
社会福祉法人 沖縄にじの会	特別養護老人ホーム 知花の里	介護老人福祉施設	
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
移乗介護（非装着型）	床走行リフト マキシツイン底床型Lハンガー 吊り具 グルドマンシートベーシック・ハイSサイズ		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リース・レンタルの契約期間
令和4年2月1日	1セット	令和4年2月28日	年 月 日から 年 月 日まで
<b>【目標の達成状況】</b> ①達成項目(複数選択可) <input checked="" type="checkbox"/> 身体的負担の軽減 <input checked="" type="checkbox"/> 心理的負担の軽減 <input type="checkbox"/> 介護時間の短縮 <input type="checkbox"/> 業務の効率化 <input type="checkbox"/> その他 ( )			
②達成内容 ※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)がどの程度達成できたのかについて、数値指標を用いて記載すること。 現在ロボットを使用しているフロアの職員数は10名。そのうち、1名が導入時から故障中で現在休職中。ロボット使用開始後に心身の不調を訴えている職員は0名、退職した職員も0名。また、1名が妊娠中であるが、介護ロボットを使用し、現在順調な妊娠経過をたどっている。以上の状況から身体的負担の軽減、心理的負担の軽減という目標はおおむね達成できていると考える。			
<b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b> ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 3月より、1名の入居者のベッド⇄車椅子の移乗介助に使用している。徐々に、使用する人数を増やし、3名の入居者に使用しているが、毎回の移乗介助で使用できているのは最初に使用を開始した1名のみ。			
<b>【介護ロボットの導入効果（使用する業務・使用頻度等）】</b> ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 導入開始前の2月9日に皮膚剥離が1件発生しているが、3月の導入開始から現在にいたるまで、皮膚剥離等の事故は発生していない。			
<b>【介護ロボットの不都合な点の課題】</b> ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 ロボット本体のサイズが大きい為、狭い空間での使用時に手間がかかる事がある。使用する事への慣れや搭載されている機能の有効活用が課題。			

※1年目の提出時には下記も作成してください

**【介護ロボット本体の写真】**

※介護ロボットの形状がわかる写真を添付、行の大きさは変更して構いません



**【介護ロボット使用状況の写真】**

※実際にベッドや居室に整備した写真、介護ロボットの使用状況の写真を添付。ホームページに掲載しますのでプライバシーの保護に十分配慮してください。

